JVC 4K Clip Manager

ユーザーズガイド

LST1376-001A.

もくじ

もくじ 2
このユーザーズガイドの見かた 2
ソフトウェア使用許諾契約書 3
1. 基本機能 4
2. 動作環境 4
2-1. 対応プラットフォーム 4
2-2. 対応言語 4
3. インストール 4
4. アプリケーション操作手順の流れ 5
5. アプリケーション画面の説明 6
5-1. ウィンドウの構成 6
5-2. 各部の名前とはたらき 6
6. ソースビュー、アーカイブビューでのクリップ表示 9
6-1. サムネイル表示について 9
6-2. 手動選択の場合のメディアドライブ選択について 10
6-3. クリップの検索ウィンドウの働きについて 11
6-4. 4GB 分割されたクリップのサムネイル表示について 12
7. クリップの操作 13
7-1. クリップのアーカイブ操作 13
7-2. クリップの保存 14
7-3. Finder へのドラッグ＆ドロップによるクリップコピー 15
7-4. アーカイブクリップの Finder 表示 16
8. クリップのエクスポート 17
9. エラーメッセージについて 19

このユーザーズガイドの見かた

本文中の記号の見かた

ご注意： 操作上の注意が書かれています。

メモ ： 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

→ ： 参考ページや参照項目を示しています。

本書記載内容について

－ 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。

－ 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

商標について

－ Mac OS は、米国および他の国々で登録された、Apple Inc. の商標です。

－ Intel は、アメリカ合衆国および他の国における Intel Corporation の登録商標です。

－ 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。

ソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェアをご使用になる前に、以下の「ソフトウェア使用許諾契約書」をお読みください。

ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社 JVC ケンウッド（以下「弊社」といいます）は、お客様に、弊社 4K メモリーカード カメラレコーダー（以下「本製品」といいます）専用の JVC 4K Clip Manager（以下「本ソフト」といいます）を使用する権利を下記の条件で許諾します。

1. 著作権

＊ 本ソフトに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属し又は第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトは、日本、アメリカ合衆国およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

2. 権利の許諾

A. お客様は、本契約の条項に従って、本製品とともに本ソフトを使用する非独占的な権利を本契約に基づき取得します。

B. お客様は、お客様のコンピューターに搭載された HDD その他の記憶装置に本ソフトをインストールし、使用することができます。

C. お客様は、本ソフトをバックアップまたは保存の目的において複製することができます。

3. 制限事項

A. お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。ただし、適法と認められる場合はこの限りではありません。

B. お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトを全部または一部であるかを問わず、使用、複製することはできません。

C. お客様には本ソフトを第三者に使用許諾する権利はなく、またお客様は本ソフトを第三者に販売、貸与またはリースすることはできません。

4. 限定保証

本ソフトは、一切の保証なく、現状で提供されるものであり、弊社はその商品性、特定用途への適合性をはじめ、明示的にも黙示的にも本ソフトに関して一切保証しません。本ソフトに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

5. 責任の制限

弊社は、本契約その他いかなる場合においても、本ソフトに関連する結果的あるいは付随的損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）について、一切責任を負いません。お客様は、本ソフトの使用に関連して第三者からお客様になされた請求に関連する損害、損失あるいは責任より弊社を免責し、保証するものとします。

6. 契約期間

A. 本契約は、お客様が本ソフトをお客様のコンピューターにインストールされた日を以て発効し、本条第２項の規定により弊社が解除しない限り有効に存続するものとします。

B. お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、弊社は、お客様に対し、催告を行うことなく直ちに本契約を解除することができます。その場合、弊社は、お客様の違反によって被った損害をお客様に請求することができます。なお、本契約が終了したときには、お客様は直ちにお客様のハードウェアに保存されている本ソフトを破棄（お客様のコンピューター上のメモリーからの消去を含みます）するものとします。

7. 輸出管理

お客様は、日本ならびにその他の関係国が、本ソフトあるいはそれに含まれる情報・技術を輸出禁止ないし制限している国、地域並びに者に対して、輸出または出荷しないことに同意します。

8. その他

A. 弊社の正当な代表者が署名した書面による場合を除き、本契約のいかなる修正、変更、追加、削除その他改変も無効とします。

B. 本契約のいずれかの規定が法律で無効とされた場合も、他の規定は依然有効とします。

C. 本契約は日本国法を準拠法とします。本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所としてこれを解決するものとします。

1. 基本機能

JVC 4K Clip Manager（以下、本ソフトウェア）は、4K メモリーカードカメラレコーダー GY-HMQ10（以下、本機）で撮影したクリップのサムネイル閲覧とアーカイブ、および 4K2K 解像度のクリップにコーデック変換するためのアプリケーションソフトウェアです。

2. 動作環境

2-1. 対応プラットフォーム

本ソフトウェアは、Mac OS X 上で動作します。

OS	Mac OS X 10.6.8 以上、あるいは 10.7.2 以上
CPU	Intel プロセッサ
メモリー	4GB 以上を推奨
ハードディスク	10GB 以上の空き容量（扱う動画ファイルの容量によります）
インターフェイス	SD カードインターフェイス
その他要件	QuickTime Player および Final Cut Pro X のインストール

2-2. 対応言語

対応言語は日本語と英語のみです。日本語以外の動作環境では英語表示となります。

3. インストール

本ソフトウェアはデイスクイメージファイル（dmg ファイル）の形式で提供されます。
zip ファイル等で圧縮されている場合は解凍すると dmg ファイルを取り出すことができます。
dmg ファイルをダブルクリックしてイメージファイルがマウントされると下の図にあるようなウィンドウが起動しますので、アプリケーションフォルダを示すアイコンにドラッグ＆ドロップしてください。アプリケーションフォルダにコピーされます。

4. アプリケーション操作手順の流れ

ここでは、本ソフトウェアを使って 4K2K モードで撮影されたクリップの操作手順について説明します。クリップを操作する基本的な手順は以下のような流れとなります。

ご注意：

・クリップのアーカイブは必ず本ソフトウェアを使って行なってください。アーカイブ先のフォルダにはクリップ以外の情報ファイルがあるため、別の方法で操作するとクリップの管理ができなくなります。

Step 1	**撮影済みメディアのサムネイルを表示する** 4K2K モードで撮影した 4 枚の SD カードを USB 接続でコンピューターにマウントし、撮影したクリップのサムネイル画像を一覧表示します。 SD カードをボリュームごとコンピューターにコピーした場合には、手動選択モードで 4 つのボリュームを選択することで撮影したクリップのサムネイル画像を一覧表示することができます。

▼

Step 2	**クリップをコンピューターにアーカイブする** コンピューターにアーカイブするためのフォルダを設定、登録し、サムネイル画像の一覧から選択したクリップをアーカイブフォルダにコピーします。 4 枚の SD カードに記録された 4K2K モードのクリップを、アーカイブ先のフォルダに集める事ができます。

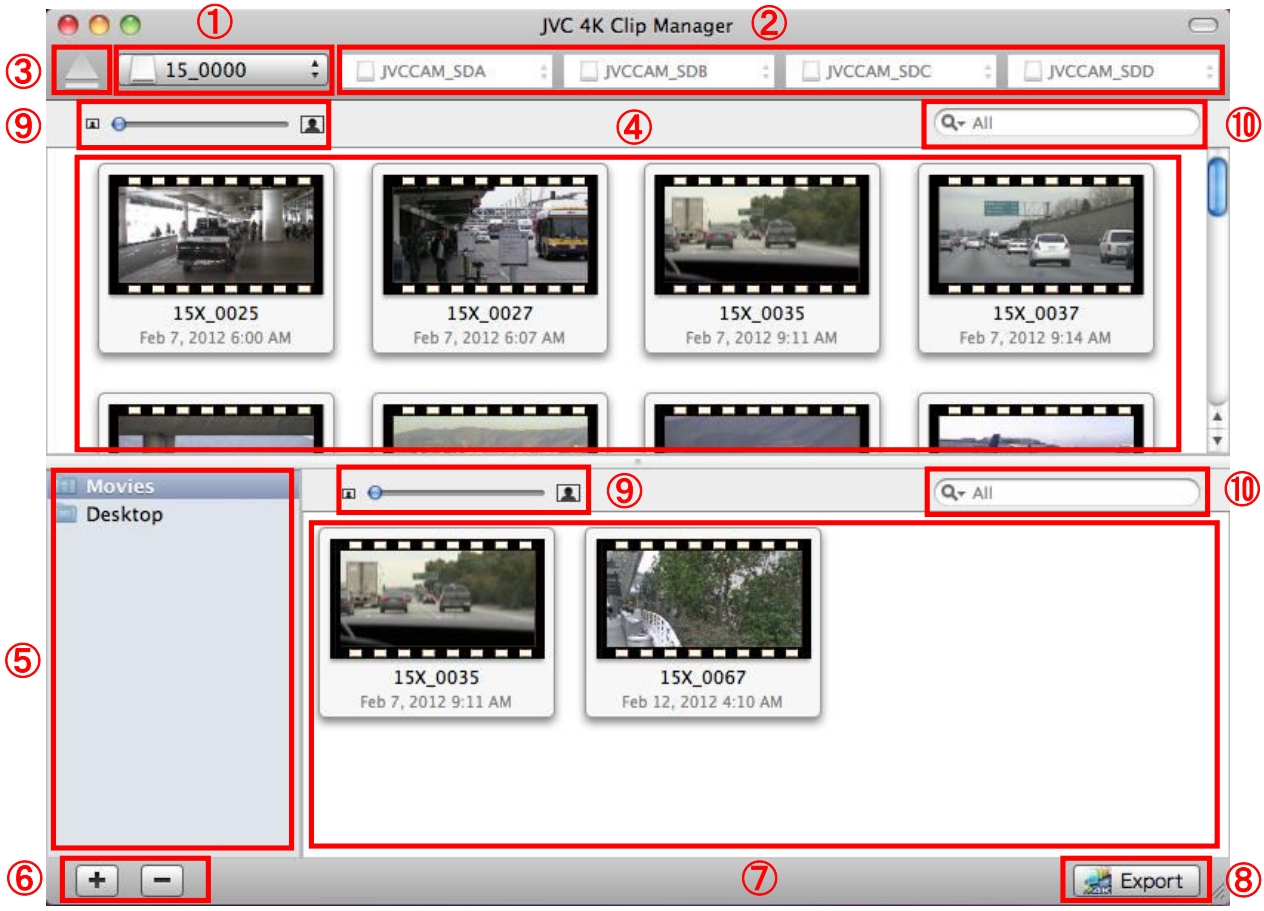
▼

Step 3	**4K ビデオ編集に対応したコーデックに変換する** 4K2K モードで記録された 4 つのクリップを、Apple 社の Final Cut Pro などのビデオ編集ソフトウェアで編集できるフォーマットに変換します。 変換するコーデックのビットレートが選択できますので、用途に応じたファイルサイズにすることができます。

5. アプリケーション画面の説明

5-1. ウィンドウの構成

本ソフトウェアを起動すると下記のような画面が表示されます。本ガイドでは英語表示の画面で説明しますが、日本語環境の場合は日本語表示となります。



5-2. 各部の名前とはたらき

① ソース選択

手動選択、あるいは自動検出したクリップメディアを表示します。

本機、あるいは 4 枚分の SD カードリーダーを USB 接続してリムーバブルメディアドライブがマウントされると、カードに記録されたクリップが自動的に検出されます。2 組以上のメディアドライブが接続された場合は、ソース選択で切り換えて表示することができます。

手動選択が表示されている場合は、4 つの SD カードのボリュームがコピーされたフォルダを選択することでクリップを検出することができます。

メモ：

SD カードのボリュームをコンピューターのハードディスクドライブなどにコピーする場合

- 本機の A, B, C, D それぞれのメディアを別々のフォルダ（フォルダ名の例：JVCCAM_SDA, JVCCAM_SDB, JVCCAM_SDC, JVCCAM_SDD）にコピーしてください。
- このフォルダに、SD カードの”PRIVATE”フォルダ以下を全てコピーしてください。
  （参考： 本機取扱説明書、「ファイルとフォルダの一覧について」）
- MP4 クリップだけをコピーしても本ソフトウェアでは認識できません。

② ボリューム選択

ソース選択①が手動選択の時に、SD カードのボリュームをコピーしたフォルダを選択します。A, B, C, D それぞれのボリュームを同じ順番で選択してください。

メモ：

Finder などで対象となるフォルダを表示させて、ボリューム選択ウィンドウにドラッグ＆ドロップしても選択することができます。

ご注意：

- SD カードからコピーした A, B, C, D それぞれのボリュームのフォルダ（①のメモ欄の例の場合、JVCCAM_SDA, JVCCAM_SDB, JVCCAM_SDC, JVCCAM_SDD）を選択してください。ボリューム以外のフォルダを選択しても認識されません。
- 各ボリューム A, B, C, D の位置を間違って選択するとエラーメッセージを表示して選択されません。（例： ボリューム A の位置にボリューム B のフォルダを選択する等）

③ イジェクトボタン

リムーバブルメディアドライブが自動検出されている状態でこのボタンを操作すると、4 つのドライブがアンマウントされて、ソース選択①が手動選択になります。
手動選択の場合はこのボタンは効きません。

④ ソースビュー

ソース選択①で検出されたボリュームに収録されているクリップのサムネイル画像が一覧表示されます。サムネイル画像とともに、クリップ名と撮影日時も表示されます。

メモ：

- クリップは撮影した日時の順番で表示されます。
- 本ソフトウェアではサムネイル画像が表示されますが、クリップの再生はできません。
- 長時間の撮影で 4GB に自動分割されたクリップのサムネイル表示 → **6-4.**を参照

⑤ アーカイブフォルダビュー

アーカイブ先として登録されているフォルダが表示されます。フォルダ名をクリックして選択すると、フォルダにアーカイブされているクリップのサムネイル画像の一覧がアーカイブビュー⑦に表示されます。

ご注意：

- アーカイブフォルダの左端にあるフォルダアイコンが（？）マークになっている場合、正しく登録がされていません。フォルダが名称変更、もしくは移動、削除された可能性がありますので、登録しなおしてください。

---

⑥ アーカイブフォルダ追加・削除ボタン

アーカイブ先として登録するフォルダの追加（＋）、および削除（－）をおこないます。フォルダの追加ボタンを押すとフォルダ選択用のウィンドウが起動しますが、ここで新規フォルダを作成することもできます。

メモ：

Finder などで追加したいフォルダを表示させて、アーカイブフォルダビューにドラッグ＆ドロップしても登録することができます。

---

⑦ アーカイブビュー

選択されたアーカイブフォルダにアーカイブされたクリップのサムネイル画像が一覧表示されます。サムネイル画像とともに、クリップ名と撮影日時も表示されます。

メモ：

- クリップは撮影した日時の順番で表示されます。
- 本ソフトウェアではサムネイル画像が表示されますが、クリップの再生はできません。
- 長時間の撮影で 4GB に自動分割されたクリップのサムネイル表示　→　**6-4.**を参照

---

⑧ エクスポートボタン

ソースビュー、またはアーカイブビューから選択したクリップを 4K 解像度のシングルクリップにコーデック変換するためのボタンです。

⑨ サムネイルの拡大・縮小スライダ

ソースビュー、またはアーカイブビューで表示しているサムネイル画像のサイズ拡大・縮小します。デフォルトでは最小サイズになっています。

⑩ 検索ウィンドウ

ソースビュー、またはアーカイブビューで表示しているサムネイルをクリップのタイトル、および作成日で検索し、絞込み表示することができます。

→　詳しくは、「6-3. クリップの検索ウィンドウの働きについて」を参照してください。

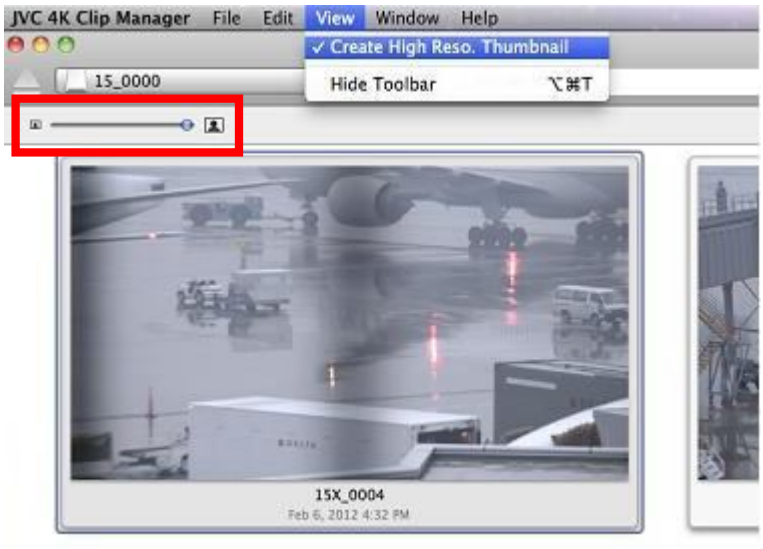
6. ソースビュー、アーカイブビューでのクリップ表示

6-1. サムネイル表示について

クリップのサムネイル映像は、デフォルトではメディアドライブ A のクリップに記録されているサムネイルデータを表示します。サムネイルデータを使用せずに A, B, C, D のクリップから作成される、高解像度のサムネイル映像を表示することもできます。

・ 高解像度のサムネイルを表示するには

［表示］メニューの［高解像度のサムネイル画像を作成］にチェックを入れます。サムネイルの拡大・縮小スライダ（5-2. ⑨）でサムネイルのサイズを大きくするとクリップからサムネイルデータを作成し、より高解像度のサムネイル画像を表示することができます。



メモ：

・ サムネイル画像の横幅が 320 ピクセルを超えた場合に高解像度のサムネイルデータを作成します。

・ 一度高解像度のサムネイル画像表示になると、その後サムネイルのサイズを小さくしても高解像度表示のままとなります。

ご注意：

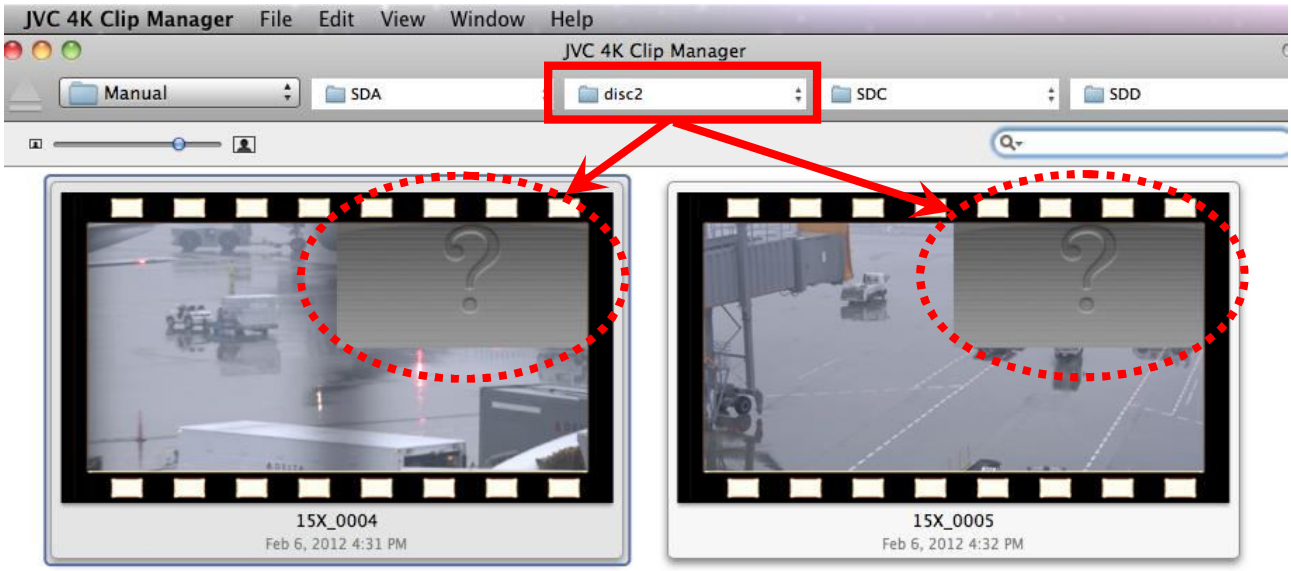
・ 高解像度のサムネイルデータの作成および表示には時間がかかりますので、操作をおこなってもすぐには反映されません。

・ 高解像度のサムネイルデータはクリップの途中の映像位置から切り出して作成しますので、デフォルトのサムネイルデータの映像位置とは異なります。

6-2.　手動選択の場合のメディアドライブ選択について

手動選択では A, B, C, D の 4 つのボリュームのあるフォルダを選択してクリップのサムネイル画像を一覧表示しますが、組み合わせの違うメディアのボリュームを選択すると、サムネイル画像の該当するボリューム位置に（？）マークを表示します。下の図では、ボリューム B が間違った組み合わせであることを示しています。（？）マークが表示された場合は正しいボリュームを選択し直してください。

（？）マークが表示されたクリップはアーカイブやエクスポートができません。



メモ：

本ソフトウェアではクリップの検出はボリューム A を基準におこないます。正しい組み合わせでクリップのサムネイル画像を一覧表示している状態から、ボリューム A を他のメディアに変更すると、ボリューム A のサムネイル画像一覧に切り換わり、B, C, D のボリュームは（？）表示になります。

6-3.　クリップの検索ウィンドウの働きについて

ソースビュー（5-2. ④）、アーカイブビュー（5-2. ⑦）の絞込み表示をおこないます

・ 検索条件を選択する

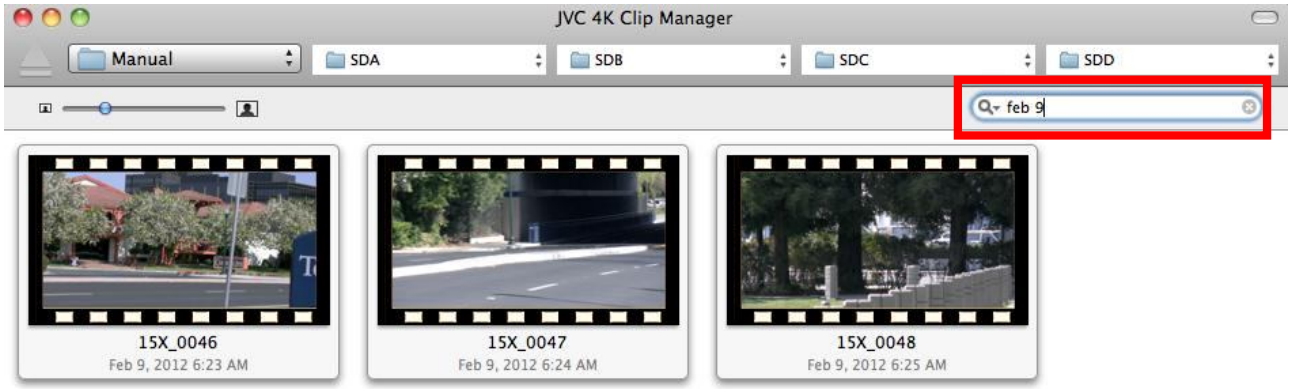
下の図のように検索ウィンドウのプルダウンメニューから、クリップのタイトルと作成日の両方、もしくはどちらか一方を選択することができます。

・ クリップのタイトルで検索する

検索ウィンドウにタイトルの一部を入力すると、条件に合ったクリップに絞込み表示されます。

・ クリップの作成日（撮影日時）で検索する

検索ウィンドウに作成日の一部を入力すると、条件にあったクリップだけに絞込み表示されます。



6-4.　4GB 分割されたクリップのサムネイル表示について

ソースビュー（5-2. ④）、アーカイブビュー（5-2. ⑦）に表示されるクリップが、長時間の撮影で 4GB に自動分割されている場合、以下の図のようなサムネイル枠表示になります。

・　**分割のない単独クリップ**

・　**先頭クリップ：　縦枠の右端が白く表示されます**

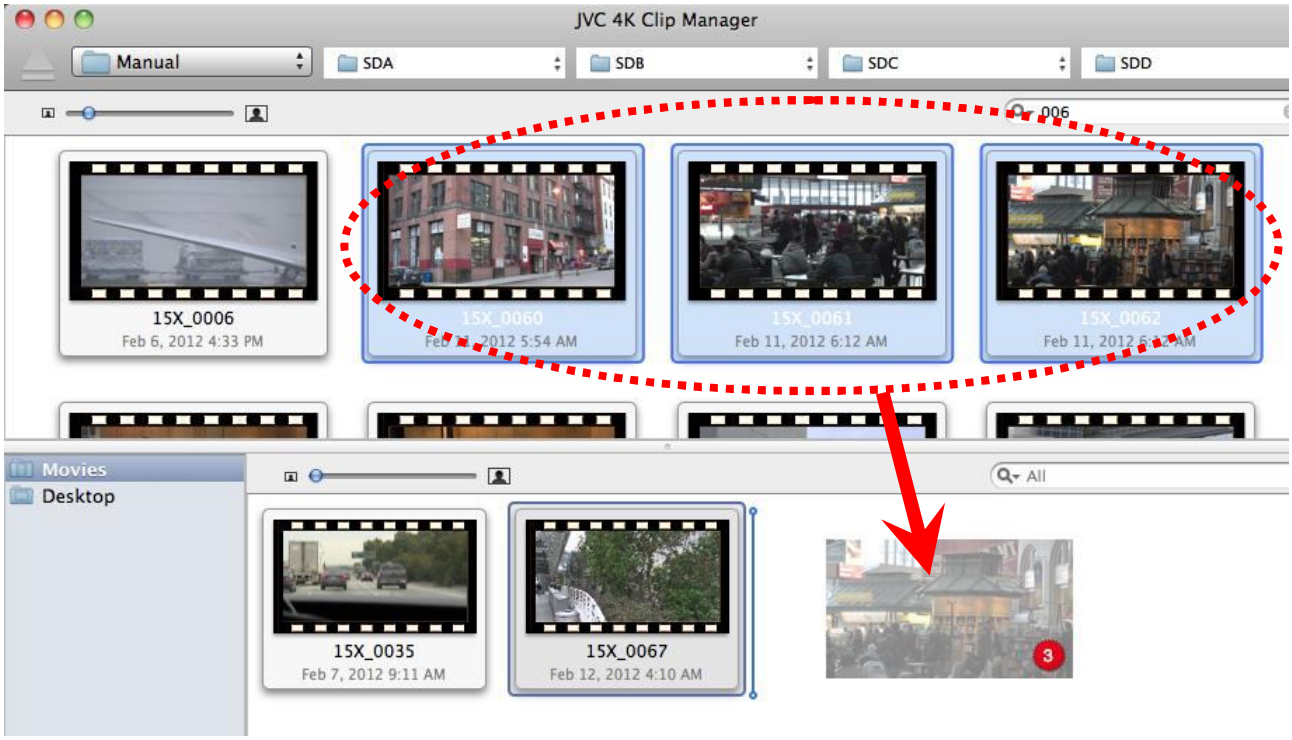
・　**中間クリップ：　縦枠の両端が白く表示されます**

・　**終端クリップ：　縦枠の左端が白く表示されます**

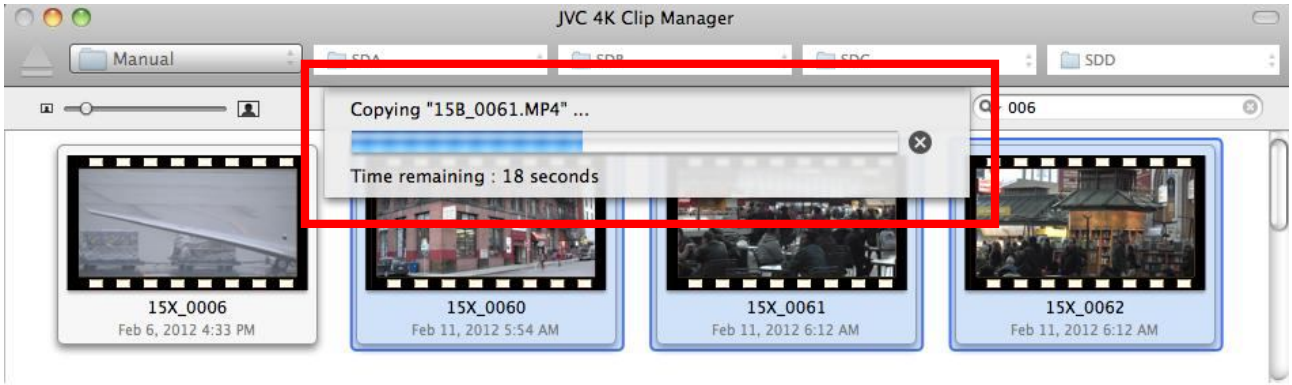
7. クリップの操作

7-1. クリップのアーカイブ操作

ソースビュー（5-2. ④）に表示されたクリップをアーカイブするには、クリップを選択しながらアーカイブビュー（5-2. ⑦）にドラッグ＆ドロップします。複数のクリップを選択することができます。



アーカイブ中のクリップコピーの進捗状況は、シートダイアログの残り時間で表示されます。

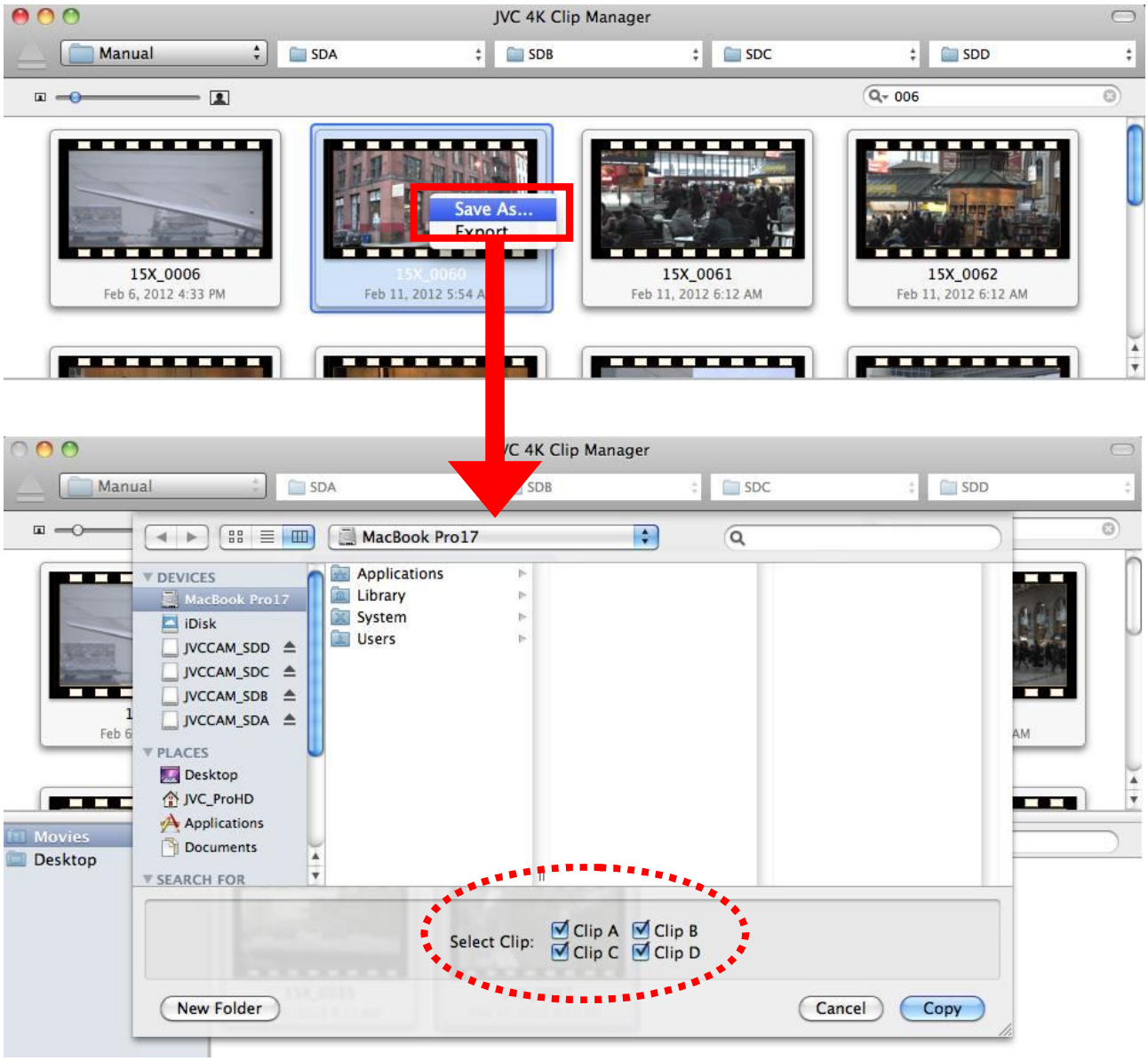


メモ：

- クリップのアーカイブは、アーカイブフォルダにクリップを収納するためのフォルダを作成して、その中に A, B, C, D の 4 つのクリップをコピーします。
- 4GB 分割されたクリップをアーカイブする場合は、分割された一部のクリップが選択されていても一連の記録全てのクリップがアーカイブされます。また、分割されたクリップごとにフォルダを作成します。

7-2.　クリップの保存

ソースビュー（5-2. ④）でクリップを選択した状態から、コンテキストメニューまたは［ファイル］メニューから［保存］を選ぶと、任意のフォルダへの保存ができます。

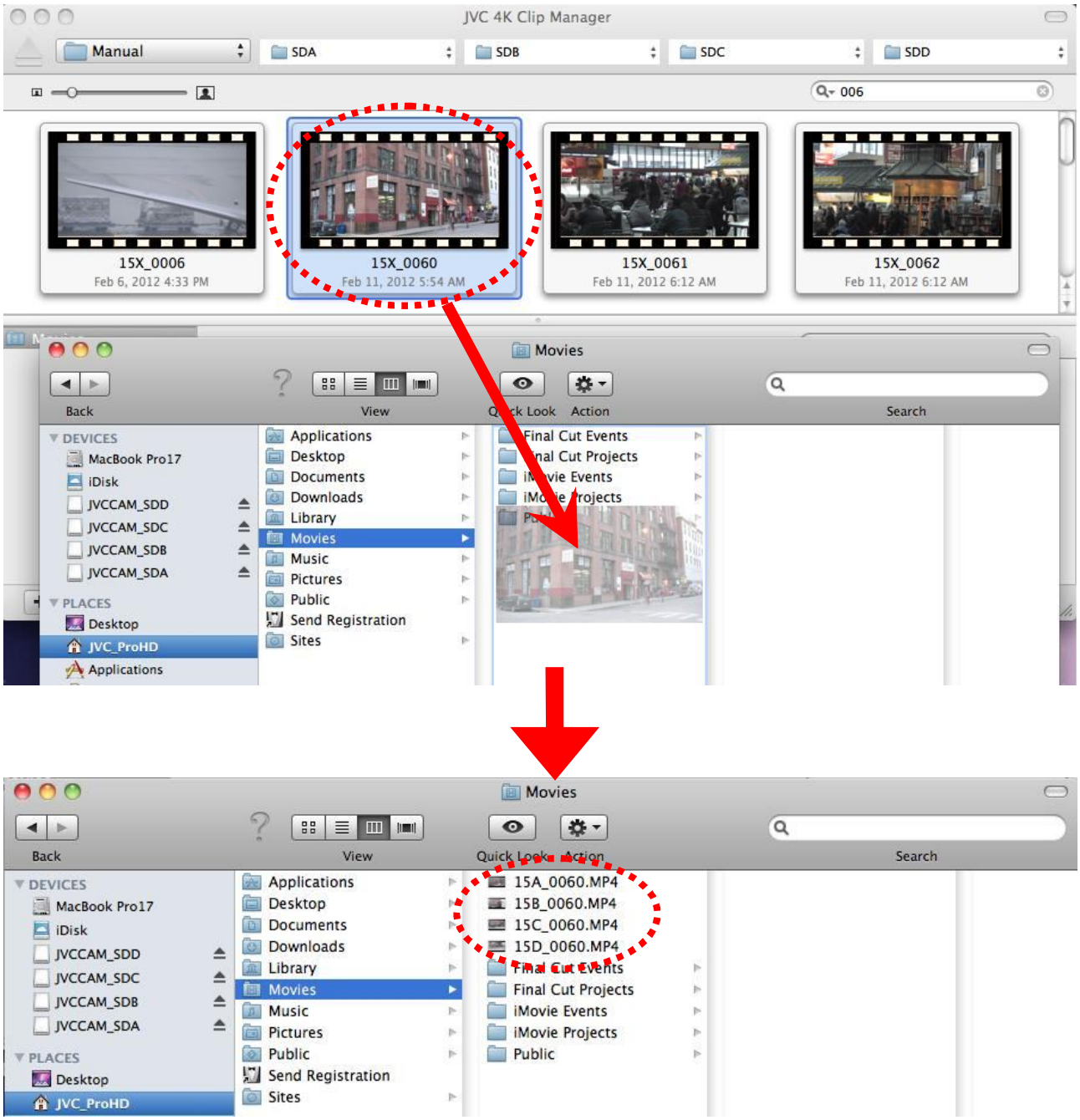


メモ：

- クリップの保存は、アーカイブと同様に保存先フォルダにクリップを収納するためのフォルダを作成して、その中に A, B, C, D の 4 つのクリップをコピーします。
- 保存したクリップはアーカイブビューでサムネイル表示することができます。
- 上の図にあるように、保存するクリップは A, B, C, D のクリップ単位での保存ができます。ただし、A, B, C, D のクリップが揃っていないとアーカイブビューにはサムネイル表示されません。

7-3.　Finder へのドラッグ＆ドロップによるクリップコピー

ソースビュー（5-2. ④）でクリップを選択した状態から Finder へのドラッグ＆ドロップで任意のフォルダへのコピーができます。

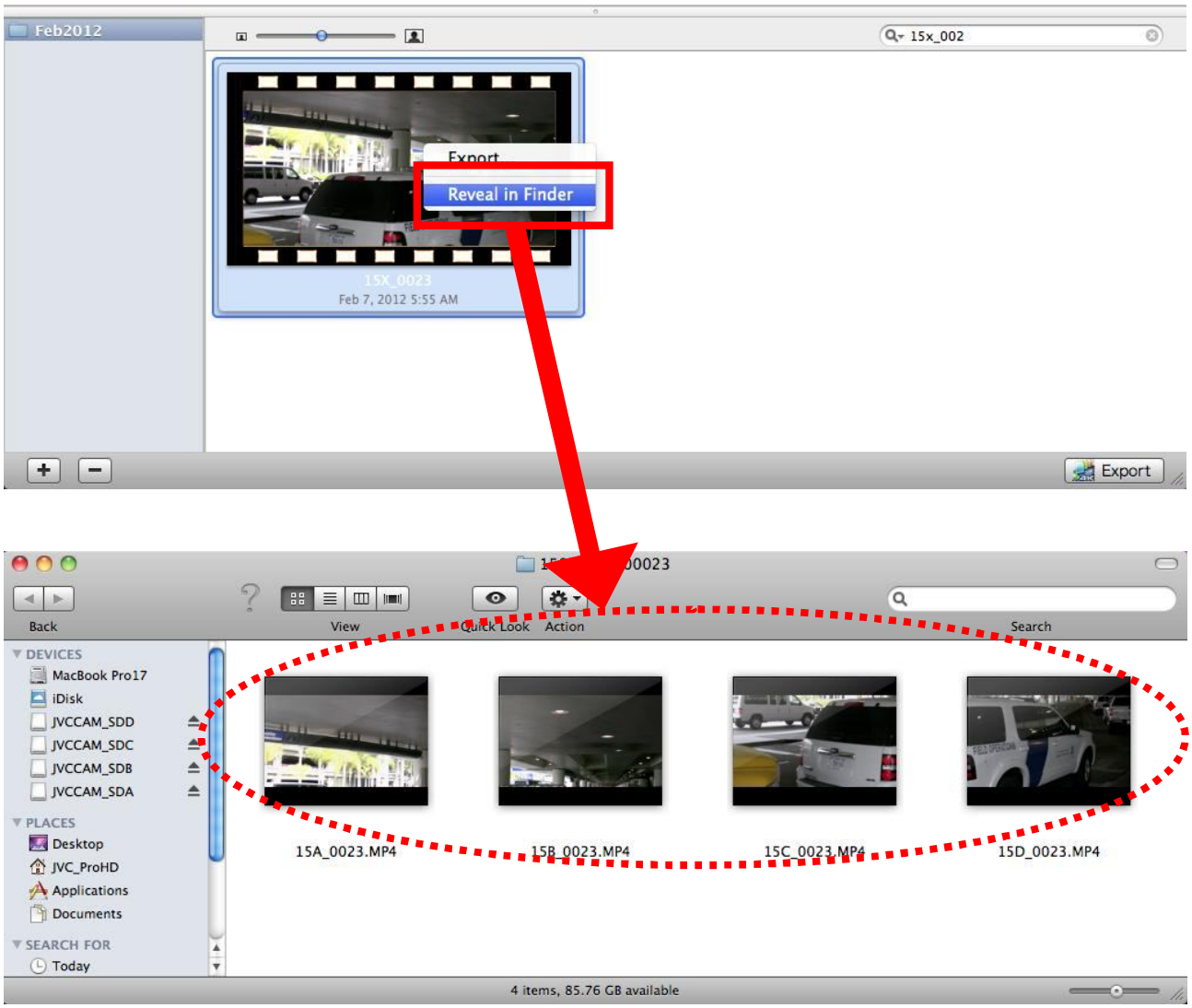


メモ：

- Finder へのドラッグ＆ドロップによるコピーでは A, B, C, D のクリップ単位の選択はできません。
- 4GB 分割されたクリップの場合は一連の記録全てのクリップがコピーされます。
- コピー先のフォルダに直接ファイルをコピーします。クリップを収納するためのフォルダは作成しませんので、アーカイブビューにはサムネイル表示されません。

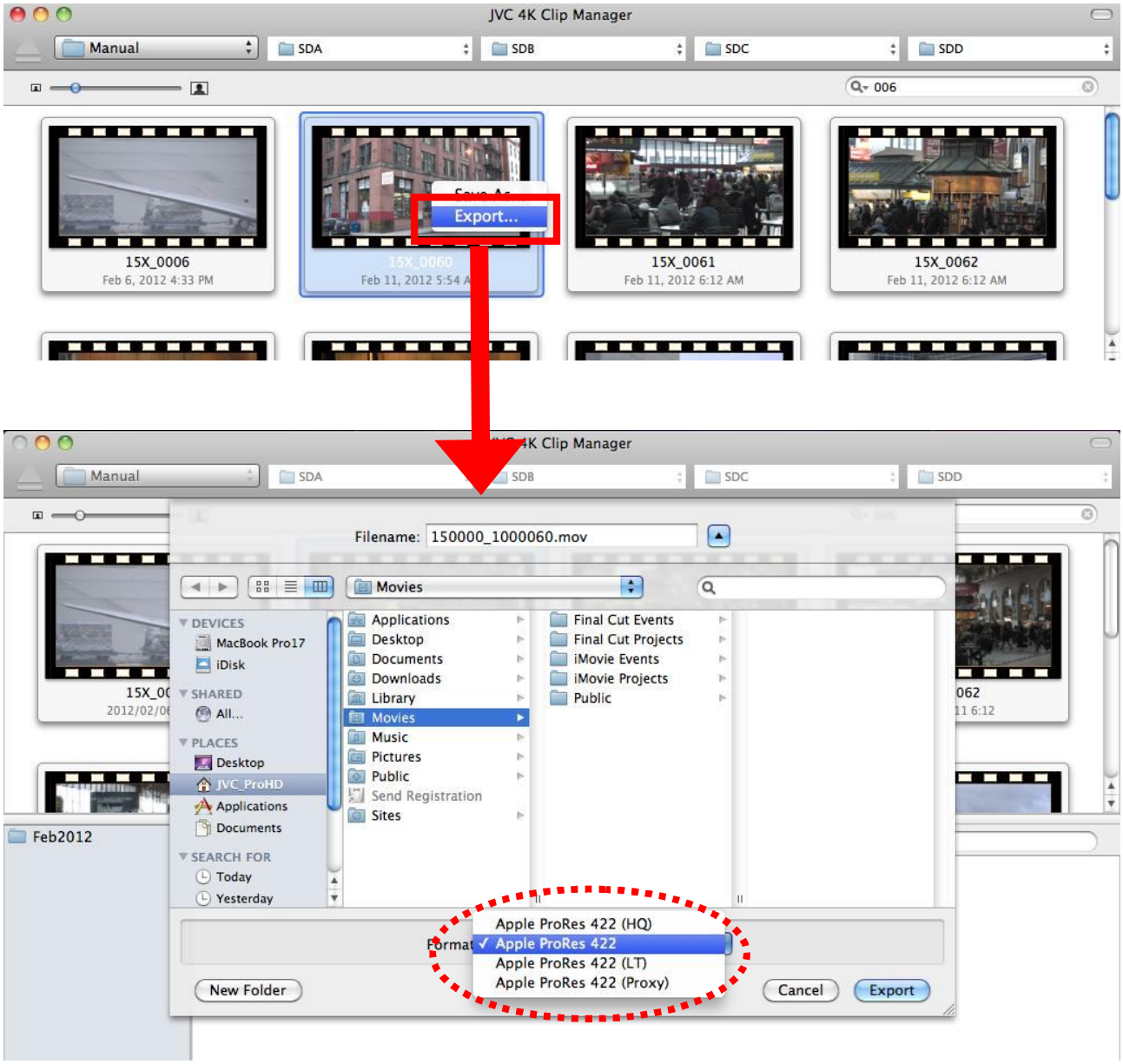
7-4.　アーカイブクリップの Finder 表示

アーカイブビュー（5-2. ⑦）でクリップを選択した状態から、コンテキストメニューの［Finder に表示］を選ぶと、Finder が起動してアーカイブフォルダに収納されている A, B, C, D の 4 つのクリップが表示されます。



8. クリップのエクスポート

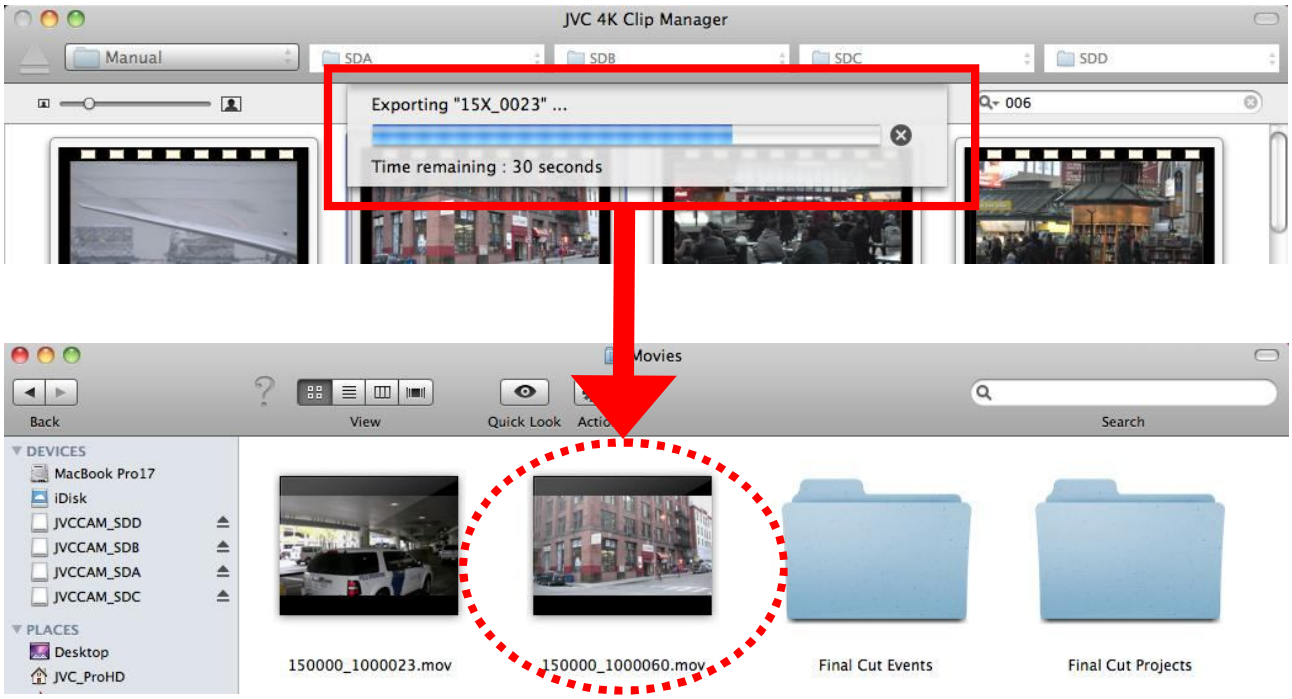
ソースビュー（5-2. ④）、アーカイブビュー（5-2. ⑦）でクリップを選択した状態から、エクスポートボタン（5-2. ⑧）をクリックするか、コンテキストメニューまたは［ファイル］メニューから［エクスポート］を選ぶと、ビデオが 4K 解像度の Apple ProRes 422、オーディオがリニア PCM である QuickTime 形式のクリップに変換することができます。



メモ：

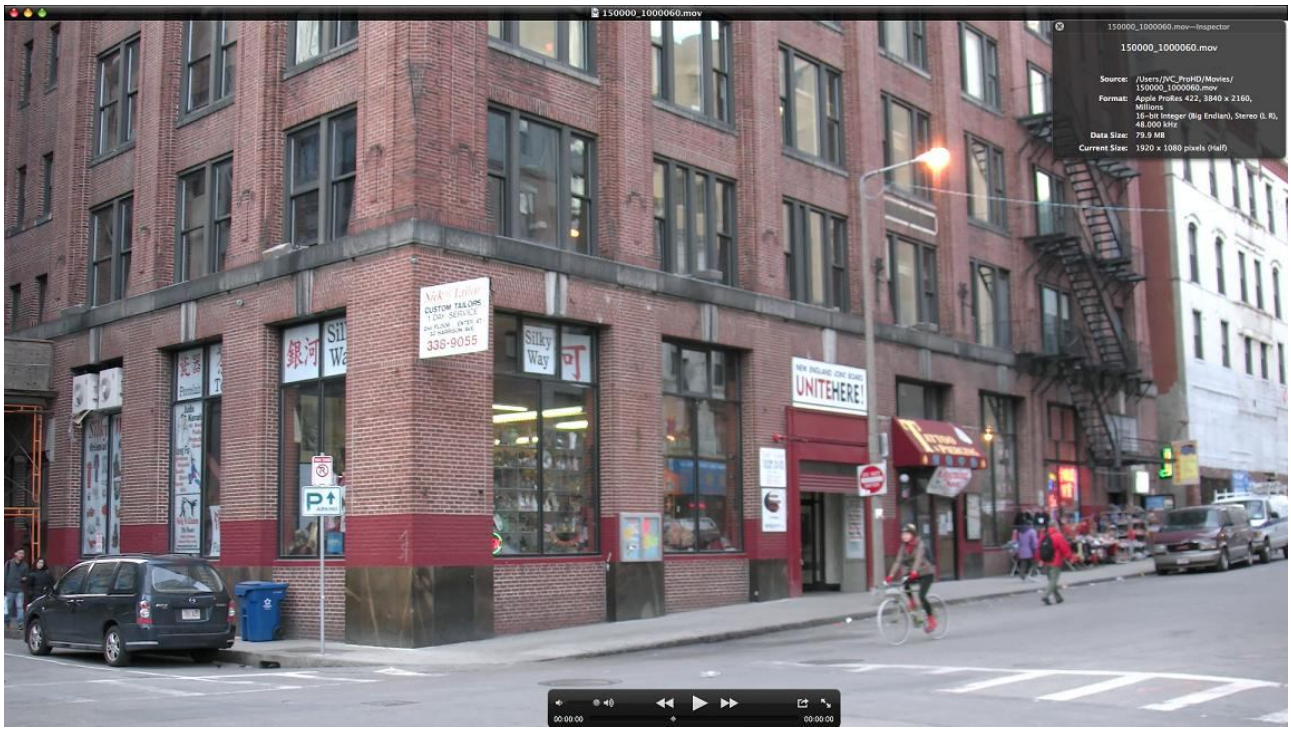
- 上の図にあるようにコーデックのエンコード画質は、Apple ProRes 422 (HQ), Apple ProRes 422, Apple ProRes 422 (LT)および Apple ProRes 422 (Proxy)の中から選択することができます。デフォルトの設定は Apple ProRes 422 です。
- 複数のクリップをまとめて一度にエクスポートすることができます。この場合、エンコード画質はすべて同じ設定になります。
- 4GB 分割されたクリップは、一連の記録全てではなく選択したクリップだけをエクスポートすることができます。

エクスポート中の進捗状況は、シートダイアログの残り時間で表示されます。エクスポートが完了すると Finder が起動してエクスポートされたクリップが表示されます。



変換したクリップは QuickTime Player で再生確認する、あるいは Final Cut Pro などのビデオ編集ソフトウェアに読み込んで編集することができます。

<u>変換したクリップを QuickTime Player で再生した場合</u>



9. エラーメッセージについて

本ソフトウェアでクリップ操作をおこなった際などに発生するエラーメッセージとその説明です。エラーの原因と考えられる項目を修正してください。

エラーメッセージ	エラーの説明
選択した項目と Clip が一致しません ［英語表記］ Clip and the selected item does not match.	手動選択でクリップのフォルダを設定した際のエラーです。A, B, C, D の 4 つのボリュームのあるフォルダを選択するさいに間違ったフォルダを設定した場合にこのエラーメッセージを表示します。 ・ A ボリューム位置に B ボリュームを設定するなど、間違ったボリューム指定をした。 ・ カードボリューム以外のフォルダを設定した。SD カードからコピーした際の PRIVATE フォルダの上位フォルダがカードボリュームとなります。
エラーが発生したため、以下のファイルのコピーができませんでした。 ［英語表記］ Error has occurred. Following files were not copied.	クリップのアーカイブや保存、コピーを実行した際のエラーです。以下のような原因が考えられます。 ・ コピー元となるファイルが見つからない。 ・ コピー先のアーカイブフォルダに書き込みの権限がない。 ・ コピー先のボリュームの空き容量が足りない。 ・ コピー先のアーカイブフォルダを Finder などで名前変更したか、フォルダを移動／削除した。（フォルダアイコンが（？）マークになっている場合があります）
以下のエクスポートに失敗しました。 ［英語表記］ Failed to export the following.	エクスポートを実行した際のエラーです。以下のような原因が考えられます。 ・ エクスポート元となるファイルが見つからない。 ・ エクスポート先のフォルダに書き込みの権限がない。 ・ エクスポート先のボリュームの空き容量が足りない。 ・ Apple ProRes 422 のエンコーダーがない。Final Cut Pro がインストールされている事が必要です。 ・ A, B, C, D の 4 つのクリップの情報が一致しない。クリップが壊れている可能性があります。SD カードからアーカイブし直してください。 ・ エクスポート元のアーカイブフォルダを Finder などで名前変更したか、フォルダを移動／削除した。（フォルダアイコンが（？）マークになっている場合があります）

LST1376-001A.

© 2012 JVC KENWOOD Corporation, All rights reserved.